

## 中国電子商取引年間取引額は 3.8 兆人民元

2009 年の中国電子商取引総額は 3.8 兆元、ネット取引額は 2586 億元で、同前年比 21.7%、105.8%だった。

《中国電子商務報告（2008-2009）》によると、2009 年大中工業企業の電子商務取引額は 15,666 億元に達し、中小企業の取引額は 19,900 億元だった。電子商務は中小企業の生産経営に幅広く活かされており、その中でもっとも多いのが購買や販売における応用だった。インターネットを経由してプロバイダーを探す中小企業は 31%を占め、販売や販売チャンネルを行う中小企業は焼く 24%だった。電子商務は中小企業の経営管理や生産管理組織形態に変更をもたらし、伝統的な資源配分の効率アップ、管理レベルのアップ、全体の創造更新力向上に貢献している。

同報告は、2009 年のネット小売は 3 つの突破はあった：①ネット経由で購買した人数は 1.08 億人次、対前年比 45.9%増。②ネット買物使用率は継続的に向上し、28.1%アップした。③ 2009 年のネット取引額は全社会小売総消費額の 2.06%となった。そのほか、ネット上商売を行う人数も持続的に高速に増えている。2009 年の 9 月末まで、ネットで商売を行う人数は 6,300 万人を達した。という。

蔣耀平(中国商務部(省)副部長)はこう語る、世界金融危機の衝撃したで、電子商務は中国企業に市場開拓、コスト削減、効率向上に手助けとなり、中国現代サービス業の一重要な部分となり、伝統的な産業の変換やレベルアップや現代商務貿易流通システムに形成有利であり、国民の経済発展の促進に重要な役割を果たしている。